



鹿児島大学の動物実験施設に並ぶ家畜の模型。学生たちが内臓の位置などを学ぶ

鹿大・山口大

獣医学部実習は「脱生体」

模型利用して傷付けず

国内の大学獣医学部で「脱生体実習」の取り組みが進んでいる。動物をなぐるべし傷付けない「動物福祉」を重視する国際的な動きを受け、鹿児島大・山口大共同獣医学部は模型を使った研究や、海外の先進地視察に力を入れている。

獣医学部ではこれまで、動物の体や投薬、手術を学ぶために生体実習は不可欠だった。一方、海外ではストレスや苦痛を受けた動物を使った研究の場合、信頼性を欠くとの見方が主流になっている。鹿大は、解剖を減らすと牛や豚の模型を導入。このほか、飼っている実験用動物が劣悪な環境



高まる動物福祉への関心



模型を使って牛の膣検査のトレーニングをする学生（山口大学ホームページより転載）

境にないよう管理しており、2017年には実験施設が国際実験動物ケア評価認証協会（AAALAC）の認証を受けた。また、今年3月は教員を先進地フランスに派遣した。鹿大・山口大共同獣医学部は、内臓の配置や手触りまで再現した精巧な模型を使った授業を視察した。ヨーロッパでは3次元映像を使った授業もあり、辻助教は「解剖学の水準は鹿大とほぼ同じ。生体ではなくても十分に実習できる」と語る。

辻尾祐志助教40がリヨン獣医科大学で、内臓の配置や手触りまで再現した精巧な模型を使った授業を視察した。ヨーロッパでは3次元映像を使った授業もあり、辻助教は「解剖学の水準は鹿大とほぼ同じ。生体ではなくても十分に実習できる」と語る。

鹿大・山口大共同獣医学部は、国際的な教育水準にあると認められる、欧州獣医学教育協会（EVEE）の認証取得を目指している。精巧な模型は海外で作っておらず、輸送や通関手続きに費用がかさむ。山口大は1~3月、馬の模型購入のため、ネット上で多数の出資を募るクラウドファンディングを実施。200万円を2カ月半で募る計画だったが、わずか5日で達成した。「21年度までに生体実習全廃」との目標を掲げる山口大の木曾康郎学部長60は「大学と無関係な一般の人が動物福祉を重視した取り組みに賛同してくれた」と関心の高さに驚く。「将来は地元企業と一緒に教材を開発できるようにしたい」と期待している。（野村真子）



英語教科化控え「本場」に触れる鹿児島市の大龍小学校児童が、鹿児島市の大龍小学校を訪れ、英語が式教科となるのを前に、児童らは「本場の生きた教材」に触れ、会話やゲームを楽しんだ。

Practical training with non-real body in veterinary education

En mars 2018, « Joint Faculty of Veterinary medicine in Kagoshima University » envois un enseigner à la France qui est un pays très avancé sur « Animal Protection/welfare ». Un professeur assistant, Yuji TSUJIO (40 ans) a visité à l'école vétérinaire VetAgro sup de Lyon et il a regardé des cours d'anatomie qui utilisent le modèle sophistiqué avec la vraie position des organes et le sentiment agréable (douceur). En Europe, il y a aussi des cours qui utilisent de 3D graphique pour enseignement d'anatomie. Dr. TSUJIO pense que « le niveau d'enseignement d'anatomie est presque pareille et on peut assez enseigner d'anatomie même si on n'utilise pas le vrai corps des animaux. « Joint Faculty of Veterinary medicine in Kagoshima University and Yamaguchi University » est en train d'essayer d'avoir une accréditation par l'association européenne des établissements d'enseignement vétérinaire (AEEEV).

